【豪州】

11-12 月の市場動向トピックス

- 2019 年 11 月の訪日豪州人数は、前年同月比 21.2%増の 48,300 人で、11 月として過去最高を記録。

- 2019 年 12 月の訪日豪州人数は、前年同月比 14.3%増の 72,700 人で、12 月として過去最高を記録。

- 9 月 1 日からの全日空パースー成田間直行便、12 月 16 日から 3 月 28 日までのカンタス航空のシドニーー新千歳間季節便といった航空便の新規就航、ラグビーワールドカップを契機とした日本のメディアへの露出機会の増加などによる訪日旅行機運の高まりにより、11 月、12 月ともに各月として過去最高を記録した。

11-12 月の主なプロモーション活動

- 豪州からの訪日教育旅行の一層の拡大を目的として、11 月 12 日にキャンベラ、11 月 14 日にメルボルンにて、訪日教育旅行を催行する可能性のある学校の教員を対象とした「訪日教育旅行セミナー」を、現地旅行会社との共催で実施した。JNTO、現地旅行会社、日本側出展者からのプレゼンテーションに加えて、ネットワーキングの時間には活発な情報交換が行われた。

- 12 月 5 日（木）にブリスベン、12 月 9 日（月）にシドニーにて、現地旅行会社を対象としたセミナー・商談会「Japan Roadshow」を開催。ブリスベンでは、日本側出展者 40 団体・現地側参加者 133 人、シドニーでは日本側出展者 53 団体・現地側参加者 186 人と、いずれもこの時期の開催としては過去最大規模となった。セミナーでは、ソフトボールのオーストラリア代表選手経験があり、現在は日本の SG ホールディングスで活躍しているステイシー・ポーター選手に、日本の魅力を紹介いただいた。また、シドニー会場では、日本側出展者の方にご協力いただき、日本酒の紹介を兼ねた日本酒試飲コーナーを設置し、現地側参加者から好評を得た。

- 12 月 7 日（土）、シドニーのタンバロンパークにて開催された、一般消費者向けの日本関連イベント「Matsuri Japan Festival」に出展し、訪日観光に関する情報提供を行った。今回は山火事の影響が懸念される中での開催だったが、主催者発表によると約 3 万人の来場者で大いに賑わい、JNTO ブースには約 3,000 人が来訪した。

（左）教育旅行セミナー （中央）Japan Roadshow での訪日セミナー （右）Matsuri Japan Festival の JNTO ブース